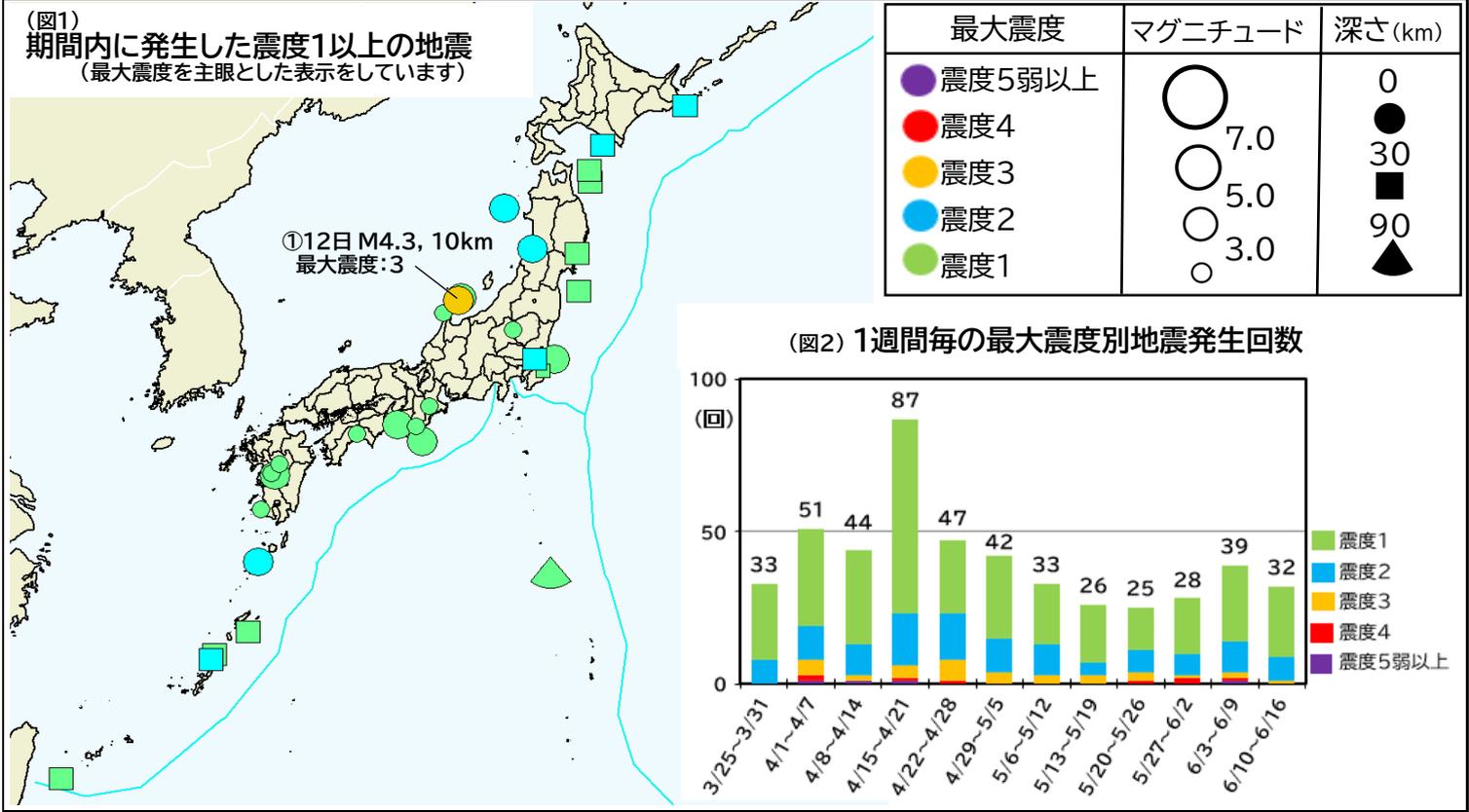


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1, 図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が32回発生。最大震度は3。 ■
- ①6月12日07時24分に石川県能登地方で発生した地震(M4.3、深さ10km)により、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、新潟県と富山県で震度1を観測。

トピックス

- 新潟地震から60年 ~新潟県の地震活動~ ■
- ・昨日は、1964年(S39)6月16日に発生した新潟県地震(M7.5)から60年目です。
- ・その概要は以下のとおりです。
- ・新潟県と東北地方南部で震度5(旧震度階級)を観測。
- ・死者26人、負傷者447人、建物全半壊8,600棟の大きな被害を伴いました。
- ・震源に近い新潟県の粟島では1m隆起しました。
- ・津波が発生し震源に近い新潟県北部沿岸で3~5mを観測したほか、北海道から山陰地方にかけての日本海沿岸の広い範囲で観測しました。
- ・新潟市内を中心に、鉄筋コンクリートの建物、橋梁、堤防など様々な構造物に被害を与えました。これは液状化現象(当時は噴砂現象などとも呼ばれていました)によるもので、本年1月の能登半島地震でも同じ場所で再び発生した所があるようです。
- ・当時、普及が進んでいた「携帯型ラジオ」が正確な情報を伝えデマの発生を防ぐことに役立つとの報告もあります。
- ・図3に新潟県付近の地震発生状況を示しました。海域と陸域の所々に目立つ活動があります。このうち、近年被害を伴った主な地震は図中に示したとおりで、陸域の浅い場所と海域で発生した地震の両方があります。
- ・この付近の海域で発生する地震は、地震の規模が比較的小さくても津波が起きやすいうえに陸地との距離が近いので短い時間で津波が到達すること、陸域で発生する地震は規模が比較的小さくても浅い所で発生すると大きな被害を伴うことがある特徴があります。
- ・新潟地震の被害写真は下記URLに詳しく紹介されています(新潟地方気象台HP)

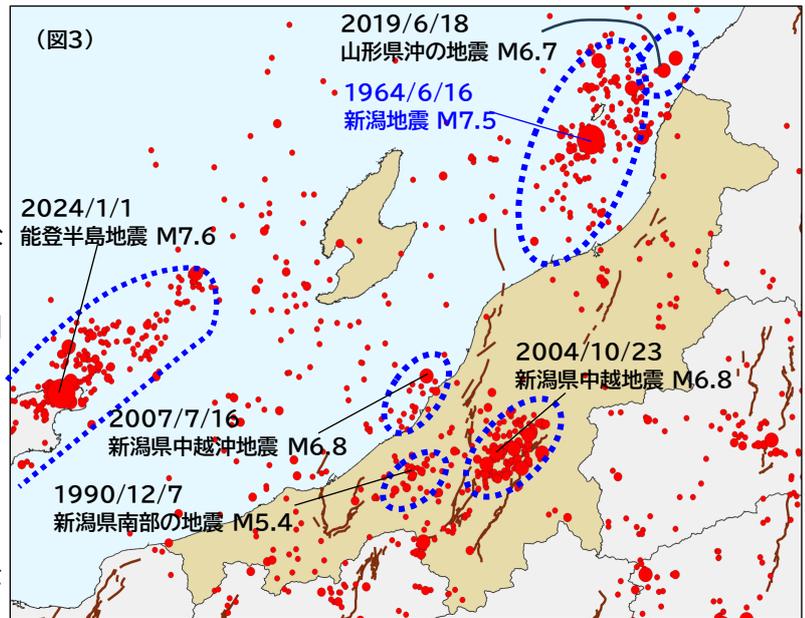


図3:震央分布図 1919/1/1 --- 2024/6/15 M \geq 4.0。茶色の線は主な活断層

<https://www.jma-net.go.jp/niigata/menu/2024project/niigata.main.html>